

令和4年度高等教育の修学支援新制度（更新確認申請書：様式第2号の1～4（別紙））

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域みらい学科	食とヘルスマネジメントコース	夜・通信	2	4	13	19	7	
	福祉とソーシャルケアコース	夜・通信			67	73	7	
	韓国語文化コース	夜・通信			9	15	7	
	グローバル共生ITコース	夜・通信			26	32	7	
	司書アーカイブズコース	夜・通信			24	30	7	
こども未来学科	こども教育コース	夜・通信	30		22	54	7	
	こども保育コース	夜・通信			7	39	7	
	こども養護コース	夜・通信			22	54	7	
(備考) 食とヘルスマネジメントコースは、コース廃止（2年生のみ在籍中） 司書アーカイブズコースは、コース新設（1年生のみ在籍中） こども養護コースは、コース新設（1年生のみ在籍中）								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/) 左下部に「Web シラバス」を公開しており、その右に「実務経験のある教員等による授業」として一覧表をアップし、広く一般に公開している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)
3. 財務情報
→ 3. 寄附行為、役員報酬規程、令和4年度役員名簿、ガバナンス・コード

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 弁護士	4年 (2020.4.1~ 2024.3.31)	労務、法務
非常勤	(現職) 佐賀みずものがたり館 館長	4年 (2022.4.1~ 2026.3.31)	教学・研究分野に 関するチェック
非常勤	(現職) ミズホールディングス 代表取締役会長	4年 (2020.6.1~ 2024.5.31)	経営強化に関する 企画運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)の作成・公表に関しては、ポータルサイトの登録・閲覧システムを利用しており、各授業について以下の内容について記載している。 授業の概要、授業の到達目標、該当ディプロマ・ポリシー項目番号、授業形態、授業計画(事前事後学習含む)、アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)、評価方法(基準)、課題等のフィードバック、教科書・参考書、科目に関する実務経験を活かした教育内容、オフィスアワー 作成にあたっては、次年度のカリキュラム及び授業担当者決定後、12月初旬ごろにシラバス作成の依頼をし、2月中旬に提出となる。その後、教務委員会を中心に内容等のチェックが行われ、それを経て年度初日に公開となる。また、ポータルサイトへの公開と同時に、Webサイトのトップページ下部に「Webシラバス」としてリンクを置き、広く外部にも公表を行っている。 上記取組みについては、地域みらい及びこども未来の両学科について、同様の取扱いをしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/ 学内では、ポータルサイトにて授業計画を公開しているが、広く一般に対しては、上記Webサイトのトップページ左下部に「Webシラバス」としてリンクを置き公表している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位の付与、及び履修の認定に関しては本学では基本的に授業科目担当者の責任において行われている。それぞれの授業科目ではシラバス(授業計画)の到達目標と該当ディプロマ・ポリシーの項目を通じて、履修者に求められる学修成果とコースのディプロマ・ポリシーを明示している。また、シラバスには評価の方法、基準も記載しており、担当教員はそこに示した方法と基準に従って受講者の学修成果を評価し、履修を認定し単位を付与している。シラバスに示された方法の妥当性に関しては、コース内の複数の教員が、事前にチェックするシステムをとっている。また、学年の終わりには授業科目の成績分布傾向を公表しており、同じく公開される各授業への学生アンケートの自由記述項目等をもとに、各教員にそれらに基づいた自己評価と成績平準化の取り組みを義務づけている。このような取り組みから、本学では適正で厳格な履修認定と単位付与を行っているものと認識している。 授業への出席状況は、ポータルサイトにて教員と学生個人との間で共有しており、</p>	

同時に職員の協力も得て学生からの欠席連絡を受付、コース内で共有する体制を整備することで、単位取得条件のひとつである授業への出席状況については公明、厳正に認定をしている。忌引きや感染症等への対応に基づく欠席に関しては、根拠となる資料を添えて届けを提出し、認定されると公認の欠席として配慮がなされる制度を整えている。また、学期の中間点に、開講科目全てにおいて欠席調査を実施し、欠席の続いた学生には、指導教員から欠席超過にならないような指導を行っている。

加えて、学修意欲の把握に関しては、本学ではシラバスに示されているように全ての授業でアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、その際の受講者との対話を通して把握に務めている。また、IR室によって学年末に行われる学習時間等の調査のデータも、学修意欲の把握の一助としている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において、本学はGPA制度を下記のとおり導入・運用している。

GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度に基づく成績評価の判定基準は次の通りとする。

①	判定	評価	評点	GP	内容
合格		秀 (S)	100~90	4	特に優秀な成績
		優 (A)	89~80	3	優れた成績
		良 (B)	79~70	2	良好な成績
		可 (C)	69~60	1	合格と認められる成績
不合格	不可 (D)	59点以下	0	※1	
認定	認定 (N)	—	—	※2	
合格	合格 (P)	—	—	※3	

※1 全授業数の3分の1を超える欠席の場合、試験を放棄した場合を含む。

※2 他大学等 (留学を含む) で修得した科目を本学の単位として認定したことを表す (検定試験等に合格し、本学の単位として認定した場合を含む)。

※3 他大学等 (留学を含む) で合格の認定を受けた単位を本学の単位として認定したことを表す。

② GPA (GPの平均値：1単位あたりのGP) の算出方法は次の通りとする。
履修登録した科目毎に、GPと単位数を乗じ、その合計数を履修登録科目の総単位数で除して算出する。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{GP} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の総単位数}}$$

上記の方法により算出しており、学生及び教職員は「ポータルサイト」にて、常に状況を確認することができる。

上記取組みについては、地域みらい及びこども未来の両学科について、同様の取扱いをしている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>学内については、入学当初全学生及び教職員に配布される「学生便覧 Campus Life」(冊子)に掲載すると共に、4月のオリエンテーションにて、説明を行っている。</p> <p>また同冊子は、本学Webサイトの情報の公表においても閲覧可能であり、広く学外に公表している。</p> <p>(http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等→3→『2022 Campus Life』</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定に関しては、機関、学科、コースのレベルでその方針(ディプロマ・ポリシー)が予め定められおり、学生に入学時に配付される「学生便覧 Campus Life」やホームページにおいて学生やその他の関係者に対して内容を公表している。同時に、各コースの卒業要件も同様の方法にて公表している。また、この方針は入学後のオリエンテーション等で学生にも周知を図っている。そして、この方針は年度末に開催される教育カンファレンスにおいて、その年度の教育活動を総括したデータを基に、毎年内容の検討がなされている。</p> <p>これらのディプロマ・ポリシーの内容が卒業時に満足できているかについては、各学期終了後、学修成果の評価項目に対して個別の学生ごとに達成度のチェックを実施しており、評価項目の達成度をもとにポリシーに到達できているのかの評価を行っている。</p> <p>卒業の判定に関しては、通常の教授会とは別に例年2月に卒業判定教授会を開催し、全てのコースの卒業予定者を対象に卒業要件をもとに判定をおこなっている。本学では卒業認定の方針(ディプロマポリシー)をもとに学修成果とその評価項目が作られており、学修成果の評価に関しては、学期ごとに評価項目をもとに学生の自己評価と指導教員との面談評価の結果を用いて実施している。</p> <p>また卒業時には、卒業認定の基礎となる取得単位及び成績に加え、学修成果の獲得状況、正課及び正課外での活動等について記した、ディプロマサプリメントを各学生に配布し、周知を行っている。</p> <p>これらのことから、本学では卒業認定に関する方針を定め、広報するとともに適切に認定しているものと認識している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>卒業の認定方針(ディプロマ・ポリシー)と卒業要件に関しては、「学生便覧 Campus Life」(冊子)に掲載し、入学時に各学生に配布している。また、本学ホームページにおいても、同様の内容を、情報の公表で広く公表している。</p> <p>(http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等→4. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準(必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)及び9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
収支計算書又は損益計算書	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
財産目録	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
事業報告書	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 2. 事業報告書、監事の監査報告書、その他の財務情報
監事による監査報告(書)	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 2. 事業報告書、監事の監査報告書、その他の財務情報

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:情報の公表 (<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>)
4. 上記以外の情報 → 9. 令和2年度佐賀女子短期大学自己点検・評価報告書

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法: <http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/>
バナー「一般財団法人大学・短期大学基準協会による令和2年度短期大学認証
評価の結果、適格と認定されました。」
→ 学校法人旭学園 佐賀女子短期大学 機関別評価結果

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域みらい学科
教育研究上の目的 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 1. 教育研究上の基礎的な情報 → 1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的
(概要) 建学の精神に基づき、地域総合学科としてのコース 固有の教育課程、およびコース横断的な教育課程のもと、専門性をベースとした「女性の社会突破力」「子どもの未来想像力」「地域で育む実践力」「多文化共生力」の4つの総合力を涵養することにより、豊かな人間性と教養をそなえ、広い視野と確かな職業観を持ち、女性の可能性を広げ、主体的に地域の未来創造に貢献していく人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー
(概要) 本学科は、本学科の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。 1. 「順和、礼讓、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人 2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人 5. コースが求める専門性の基盤を構築できる人
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー

(概要)

本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼讓、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることとを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育
2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等
3. コースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成
(学科共通のキャリア教育)

○学科共通科目「地域みらい学」の展開

・地域の抱える課題の発見とその解決方法、および多職種協働のあり方を実践的に学ぶ。

○今日的課題の理解に対応したカリキュラムの展

・国内外のインターンシップや海外研修を通し、地域や職業ごとの課題を意識した職業観を身に付ける。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：

情報の公表 (<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>)

2. 修学上の情報等

→9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー

(概要)

本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼讓、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

<p>学部等名 こども未来学科</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 1. 教育研究上の基礎的な情報 → 1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的</p>
<p>(概要) 建学の精神に基づき、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした「女性の社会突破力」「子どもの未来想像力」「地域で育む実践力」「多文化共生力」の4つの総合力を涵養することにより、豊かな人間性と教養をそなえ、広い視野と確かな子ども観を持ち、新しい時代の要請に応じて教育・保育・福祉の世界で活躍し、「子どもの未来」の幸せに貢献できる人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要) 本学科は、本学科の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人 2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人 5. コースが求める専門性の基盤を構築できる人</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>

<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育 2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等 3. それぞれのコースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成(学科共通のキャリア教育) <p>○学科共通科目「こども未来学」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の抱える課題の発見とその解決方法、および多職種協働のあり方を実践的に学ぶ。 <p>○今日的課題に対応したカリキュラムの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援」や「接続期への対応」など就職後を意識したスキルを身に付ける。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 修学上の情報等 <p>→9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人 2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人 5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 修学上の情報等 <p>→1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績・ティーチングポートフォリオ</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織 の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	4人	－					4人
こども未来	－	4人	7人	1人	0人	0人	12人
地域みらい	－	3人	6人	4人	0人	3人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		71人					71人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、各学科から2名と事務部門から2名でFD委員会を組織し、その部署が中心となってFD活動を展開している。本学ではFD活動を、授業を中心とした教育活動全般にわたる改善の取り組みと定義し、FD研修会の開催、授業相互見学、優秀授業の選定と表彰を通して啓発活動等を行っている。</p> <p>活動の中心となる研修会は、例年全学規模で7回程度を実施している。教員を対象とした、授業改善に直接資する内容のFD研修会は、授業方法に関する内容や、ICTの活用方法などを実施してきた。また、その内容を教育活動全般に広げたFD・SD研修会では、留学生への防災教育、ハラスメント、合理的配慮等に関する内容を実施してきた。職員向けのSD研修会では、これまで財務や働き方改革等の内容に関する研修会を実施している。この他、必要に応じて学科・単位でのFD研修も実施されている。</p> <p>昨年度からは、リモート形式で他大学との共同研修会を実施しており、他大学の取り組みや実情を知る機会となっている。また、本学では研修会への参加率の目標を80%以上と設定しており、この目標値については、概ね達成されている。</p> <p>研修会以外の活動として、例年、学生の授業アンケートの結果をもとにして、優秀授業表彰活動を行っている。教授会にて表彰が行われ、その際に受賞者から授業の方法や工夫に関して簡単な説明をしてもらい、その内容を共有することで授業の内容や方法の向上と同時に、教員の授業改善への動機づけを図っている。</p> <p>FD活動の一貫として、組織的な授業相互参観の取り組みも実施してきた。専任教員同士で3人程度のグループを作り、授業を相互に参観し、ピアレビューを行う授業相互参観制度も導入しており、毎年報告書を作成している。昨年度からは、この報告書に代わり、各教員にティーチングポートフォリオの作成を求め、こうした一連の流れで、授業改善に取り組んでもらう試みも行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域みらい	110人	60人	54.5%	240人	173人	72.1%	人	人
こども未来	80人	80人	100.0%	160人	133人	83.1%	人	人
合計	190人	140人	73.7%	400人	306人	76.5%	人	人

(備考)
 令和3年度 地域みらい学科 食とヘルスマネジメントコース (定員30名) 募集停止
 令和4年度 地域みらい学科 司書アーカイブズコース新設により、学科の定員変更を行った。
 ・福祉とソーシャルケアコース (定員40名)
 ・韓国語文化コース (定員30名)
 ・グローバル共生ITコース (定員20名)
 ・司書アーカイブズコース (定員20名)
 計110名
 ●地域みらい学科 (令和3年度 定員130名) → (令和4年度 定員110名)

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域みらい学科	123人 (100%)	10人 (8.1%)	97人 (78.9%)	16人 (13.0%)
こども未来学科	43人 (100%)	0人 (0.0%)	43人 (100.0%)	0人 (0.0%)
合計	166人 (100%)	10人 (6.0%)	140人 (84.4%)	16人 (9.6%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
 株式会社魚国総本社、日清医療食品株式会社、医療法人社団高邦会高木病院、社会福祉法人権原寿恵会特別養護老人ホーム真心の園、社会福祉法人天寿会天寿荘、社会福祉法人済昭園、医療法人浄心会園田病院、山代ガス株式会社、株式会社日本アウトソーシングセンター、鹿島印刷株式会社、田口電機工業株式会社、佐賀県立図書館、株式会社佐賀トヨペット、ホンダカーズ佐賀株式会社、佐賀市立西川副小学校、南島原市立口之津小学校、佐賀女子短期大学附属ふたばこども園、社会福祉法人華頂福祉会 城南保育園、社会福祉法人栄生福祉会開成保育園、社会福祉法人健翔会虹の子保育園、学校法人大谷学園 認定こども園瀬高大谷幼稚園、社会福祉法人玄洋会福津子ども発達センター

(備考) なし

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
地域みらい	108人 (100%)	103人 (95.3%)	0人 (0%)	1人 (0.9%)	4人 (3.7%)
こども未来	44人 (100%)	43人 (97.7%)	0人 (0%)	1人 (2.3%)	0人 (0%)
合計	152人 (100%)	146人 (96.1%)	0人 (0%)	2人 (1.3%)	4人 (2.6%)

(備考)
 中途退学者は、進路変更(就職)と家庭の事情である。その他4名は長期履修生。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
 授業計画の作成・公表に関しては、本学ポータルサイトによるシラバスの登録・閲覧システムを利用しており、以下の内容について記載している。
 授業の概要、授業の到達目標、該当ディプロマ・ポリシー項目番号、授業形態、授業計画（事前事後学習含む）
 アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)、
 評価方法(基準)、課題等のフィードバック、教科書・参考書、
 科目に関する実務経験を活かした教育内容、オフィスアワー
 作成にあたっては、次年度のカリキュラム及び授業担当者決定後、12月初旬ごろにシラバス作成の依頼をし、2月中旬に提出となる。その後、コースの教務委員を中心に内容等のチェックが行われ、それを経て年度初日に公開となる。また、ポータルサイトへの公開と同時に、Webサイトのトップページ下部に「Web シラバス」としてリンクを置き、広く学外にも公表を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
 学修成果に係る評価（単位の付与、及び履修の認定）に関しては、基本的に授業科目担当者の責任において行われている。それぞれの授業科目ではシラバス（授業計画）の到達目標と該当ディプロマ・ポリシーの項目を通じて、履修者に求められる学修成果とコースのディプロマ・ポリシーを明示している。また、シラバスには評価の方法、基準も記載しており、担当教員はそこに示した方法と基準に従って受講者の学修成果を評価し、履修を認定し単位を付与している。
 卒業認定に関しては、短大、学科、コースの3つのレベルでそれぞれディプロマ・ポリシーが定められおり、学生に入学時に配付される「学生便覧 Campus Life」やホームページにおいて学生やその他の関係者に対して内容を公表している。同時に、各コースの卒業要件も同様の方法にて公表し、この方針は入学後のオリエンテーション等で学生と保護者に周知を図っている。これらのディプロマ・ポリシーの内容が卒業時に満足できているかについては、各学期終了後、学修成果の評価項目に対して個別の学生ごとに達成度のチェックを実施しており、評価項目の達成度をもとに、年度末に実施される教育カンファレンスにおいて、それぞれのレベルにおいてポリシーに到達できているのかの評価がなされている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	地域みらい	62 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	25 単位
	こども未来	62 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>①情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>1. 教育研究上の基礎的な情報 → 3. 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境、校舎等の耐震化率</p> <p>②施設設備 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/campus_life/facilities)</p> <p>※ホームページトップ → キャンパスライフ → 施設設備</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
地域みらい	福祉とソーシャルケア	520,000 円	200,000 円	525,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 80,000 円 後援会費 15,000 円
	韓国語文化	520,000 円	200,000 円	475,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 後援会費 15,000 円 国際活動費 30,000 円
	グローバル共生 I T	520,000 円	200,000 円	445,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 後援会費 15,000 円
	司書アーカイブズ	520,000 円	200,000 円	445,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 後援会費 15,000 円
こども未来	こども保育	520,000 円	200,000 円	460,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 15,000 円 後援会費 15,000 円
	こども教育	520,000 円	200,000 円	470,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 25,000 円 後援会費 15,000 円

	こども養護	520,000 円	200,000 円	470,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 25,000 円 後援会費 15,000 円
--	-------	-----------	-----------	-----------	--

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生への修学支援は指導教員及び各担当部署が相互に連携しながら、以下の支援を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導教員制・・・入学後、各学生に指導教員を割り振り、修学上の問題はもとより、個々の学生生活の諸問題について、支援および助言を行う。 2. 履修登録・・・年度当初に全学生を対象に教務オリエンテーション（含む履修指導）を行った後、各学科コースの教務委員で、コース別の履修指導を行う。 3. 学期初期面談・・・進路に関するミスマッチ等による退学者予防の為、入学後早い時期に、指導教員による面談を行い、学習面、生活面、対人面、進路面、経済面について状況を把握し、必要に応じて経過観察または指導を行う。 4. 成績不振学生対応・・・各学期終了後、基準以下の学生については指導教員による面談と個別支援を行う。また、学生相談室とも情報を共有し、必要に応じて追加の面談や専門的対応を行う。 5. 保護者会・・・保護者会を年1回行っている。1年生は学生生活を中心に、2年生は進路関係を中心に全体会を行い、その前後で指導教員との個別面談を実施する。 6. 図書館オリエンテーション・・・入学後、図書館の使用方法（情報検索、資料請求、図書貸出等）について全体オリエンテーションを行う。 7. 入学前教育・・・各コースでは課題提示またはスクーリングにより、入学前教育を行っている。また、付属高校に関しては、短大教育へのスムーズな移行を図るため、初年次教育に関連した入学前学習会を、スクーリングによって実施する。 <p>その他、学生生活に係る諸手続きに関しては、「学生便覧 Campus Life」に掲載し、関係窓口にて対応している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では全コースの教員、事務職員が構成員となっている学生キャリア支援室を設置しており、月に1回支援に関する会議を実施し、全学体制で支援を行っている。1年次より進路ガイダンスを実施し、学外からはヤングハローワークの受け入れを行うことで、学生の進路意識の向上に努めている。その他にも就職先訪問及びアンケート調査、インターンシップ支援、公務員及び教員採用試験対策講座、その他資格取得、編入学への支援を実施している。</p>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

各コースの代表の教員と養護教諭で構成した「健康管理センター」を設置している。毎月1回会議を開催して、学生全体の心身の健康状態や健康課題について協議し、学園全体の情報の共有や共通理解を図り、学生相談室と連携して心身両面から学生支援へ繋いでいる。感染症対応については「フローチャート」を作成し全教職員が危機管理の意識を持ち、適切な対応ができるようにしている。また、1年生全員を対象にした性に関する講話やAEDの講義・実技の研修を毎年度計画的に実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

情報の公表 (<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>)

2. 修学上の情報等

→ 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績

・『研究紀要』第54集（電子ブック）

・『研究紀要』第55集（電子ブック）

4. 上記以外の情報

→ 1. 教育条件（1）～（3）

2. 教育内容（1）～（3）

3. 学生の状況（1）～（3）

4. 国際交流・社会貢献等の概要及び連携事業実施内容（1）～（3）

5. 授業評価結果

6. 学生生活満足度アンケート結果

7. 佐賀女子短期大学公的研究費運営・管理の方針、外部資金の獲得実績

8. 佐賀女子短期大学研究活動不正行為に対する取組の概要、佐賀女子短期大学研究活動不正行為に関する規程

大学等における修学の支援に対する確認申請書

9. 令和2年度佐賀女子短期大学自己点検・評価報告書

教職課程の情報公表

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		47人	39人	47人
内 訳	第Ⅰ区分	27人	27人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				47人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	一人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	一人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	一人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	一人
計	人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F241310111158
学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		47人	39人	47人
内 訳	第Ⅰ区分	27人	27人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				47人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		—	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		—	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期
			0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

令和3年度高等教育の修学支援新制度（更新確認申請書：様式第2号の1～4（別紙））

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
地域みらい学科	食とヘルスマネジメントコース	夜・通信		4	27	31	7	
	福祉とソーシャルケアコース	夜・通信			71	75	7	
	韓国語文化コース	夜・通信			5	9	7	
	グローバル共生ITコース	夜・通信			21	25	7	
こども未来学科	こども教育コース	夜・通信		19	18	37	7	
	こども保育コース	夜・通信			9	28	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>学生に対しては「学内ポータルサイト」にて公開している。 また、ホームページ (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/) 左下部に「Web シラバス」を公開しており、その右に「実務経験のある教員等による授業」として一覧表をアップし、広く一般に公開している。</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	
該当なし	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)
3. 財務情報
→ 2. 事業報告書（役員名簿含む）、監事の監査報告書、その他の財務情報

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(現職) 弁護士	4年 (2020.4.1 ~2024.3.31)	労務、法務
非常勤	(現職) 佐賀みずものがたり館 館長	4年 (2018.4.1 ~2022.3.31)	教学・研究分野に関するチェック
非常勤	(現職) ミズホールディングス 代表取締役会長	4年 (2020.6.1 ~2024.5.31)	経営強化に関する企画運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成・公表に関しては、本学ポータルサイトの登録・閲覧システムを利用しており、以下の内容について記載している。 授業の概要、授業の到達目標、該当ディプロマ・ポリシー項目番号、授業形態、授業計画(事前事後学習含む) アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)、 評価方法(基準)、課題等のフィードバック、教科書・参考書、 科目に関する実務経験を活かした教育内容、オフィスアワー 作成にあたっては、次年度のカリキュラム及び授業担当者決定後、12月初旬ごろにシラバス作成の依頼をし、2月中旬に提出となる。その後、教務委員により内容等のチェックが行われ、それを経て年度初日に公開となる。また、学内のポータルサイトへの公開と同時に、本学ホームページのトップページ下部に「Web シラバス」としてリンクを置き、広く一般にも公表を行っている。 上記取組みについては、地域みらい及びこども未来の両学科について、同様の取扱いをしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/ 学内では、ポータルサイトにて授業計画を公開しているが、広く一般に対しては、上記本学ホームページのトップページ左下部に「Web シラバス」としてリンクを置き公表している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位の付与、及び履修の認定に関しては本学では基本的に授業科目担当者の責任において行われている。それぞれの授業科目ではシラバス(授業計画)の到達目標と該当ディプロマ・ポリシーの項目を通じて、履修者に求められる学修成果とコースのディプロマ・ポリシーを明示している。また、シラバスには評価の方法、基準も記載しており、担当教員はそこに示した方法と基準に従って受講者の学修成果を評価し、履修を認定し単位を付与している。シラバスに示されたそれらの内容の妥当性に関しては、コース内の複数の教員が、事前にチェックするシステムをとっている。また、学年の終わりには授業科目の成績分布傾向を公表しており、同じく公開される各授業への学生アンケートの自由記述項目等をもとに、各教員にそれらに基づいた自己評価を義務づけている。このような取り組みから、本学では適正で厳格な履修認定と単位付与を行っているものと認識している。 授業への出席状況は、ポータルサイトにて教員と学生個人との間で共有しており、</p>	

同時に事務サイドの協力も得て学生からの欠席連絡を受付、コース内で共有する体制を整備することで、単位取得条件のひとつである授業への出席状況については公明、厳正に認定をしている。加えて、学修意欲の把握に関しては、本学ではシラバスに示されているように全ての授業でアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、その際の受講者との対話を通して把握に務めている。また、IR室によって学年末に行われる学習時間等の調査のデータも、学修意欲の把握の一助としている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において、本学はGPA制度を下記のとおり導入・運用している。

GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度に基づく成績評価の判定基準は次の通りとする。

①	判定	評価	評点	GP	内容
合格		秀 (S)	100~90	4	特に優秀な成績
		優 (A)	89~80	3	優れた成績
		良 (B)	79~70	2	良好な成績
		可 (C)	69~60	1	合格と認められる成績
不合格		不可 (D)	59点以下	0	※1
認定		認定 (N)	—	—	※2
合格		合格 (P)	—	—	※3

※1 全授業数の3分の1を超える欠席の場合、試験を放棄した場合を含む。

※2 他大学等 (留学を含む) で修得した科目を本学の単位として認定したことを表す (検定試験等に合格し、本学の単位として認定した場合を含む)。

※3 他大学等 (留学を含む) で合格の認定を受けた単位を本学の単位として認定したことを表す。

- ② GPA (GPの平均値: 1単位あたりのGP) の算出方法は次の通りとする。
履修登録した科目毎に、GPと単位数を乗じ、その合計数を履修登録科目の総単位数で除して算出する。

$$GPA = \frac{(GP \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の総単位数}}$$

上記の方法により算出しており、学生及び教職員は「ポータルサイト」にて、常に状況を確認することができる。

上記取組については、地域みらい及びこども未来の両学科について、同様の取扱いをしている。

客観的な指標の算出方法の公表方法

学内については、入学当初全学生及び教職員に配布される「学生便覧 Campus Life」(冊子) に掲載すると共に、4月のオリエンテーションにて、説明を行っている。

また同冊子は、本学ホームページ情報の公表においても閲覧可能であり、広く一般に公表している。

(<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>)

2. 修学上の情報等 → 3 → 『2021 Campus Life』

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定に関しては、学校、学科、コースのレベルでその方針（ディプロマ・ポリシー）が予め定められおり、学生に入学時に配付される「学生便覧 Campus Life」やホームページにおいて学生やその他の関係者に対して以下に示す内容を公表している。同時に、各コースの卒業要件も同様の方法にて公表している。また、この方針は入学後のオリエンテーション等で学生と保護者にも周知を図っている。そして、この方針は年度末に開催される教育カンファレンスにおいて、その年度の教育活動を総括したデータを基に、毎年内容の検討がなされている。

ディプロマ・ポリシーは、先述したように短大、学科、コースの3つのレベルにおいてそれぞれ設定されているが、ここでは、卒業の認定の際に直接関わる各コースのポリシーについて説明する。ポリシーにはそれぞれのコースの学修成果をベースに、コース独自の卒業時に求められる能力を記述している。この求められる能力を定める際に、「順和、礼讓、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人を全コースに共通して求められる能力としている。

その他、コース独自の求められる能力としては、地域みらい学科の食とヘルスマネジメントコースで・コミュニケーションを円滑にし、積極的に協働できる人。・食に関する専門的知識や実践的技能を修得し、国際・地域社会における食の世界の今日的なニーズに対応できる人と定めている。また、福祉とソーシャルケアコースでは、・介護を必要とする人の心に寄り添い、その立場に立って考えることができ、適切に行動することができる人。・介護福祉士に必要な幅広い専門知識と、個性を理解した根拠のある生活支援技術を身に付けている人。・生活支援技術の理論と実践を統合し、個別介護計画の立案・実施・評価ができる人。・福祉の現状に関心を持ち、予想される未来について推察する力を身に付けている人と定めている。韓国語文化コースでは、・言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人。・多文化共生力、専門的知識・技能（外国語力、特に韓国語能力さらに韓国文化への深い理解）を国際・地域社会で主体的に活用できる人と設定している。グローバル共生 IT コースでは、・言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人。・多文化共生力、専門的知識・技能（外国語力、ビジネス能力、司書としての技能、IT とデザインに関わる専門的知識・技能）を国際・地域社会で主体的に活用できる人と設定している。

これに対して、こども未来学科ではこども教育コースで、・豊富な社会体験を通して、自ら考える力や幅広い教養とコミュニケーション能力を身に付けることができる人。・将来の小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等としての目的意識を持ち、使命感と豊かな人間性を備えた人。・基礎・基本の学力とともに、専門的知識や実践的技能を身に付けようと努力する人の3点を、こども保育コースでは・保育者としての使命感と豊かな人間性を持ち、常に子どもに寄り添い、子どもを尊重することができる人。・保育者としての専門的知識や実践的技能を修得し、様々な側面から子どもを理解し、国際・地域社会における今日的なニーズに対応できる人。・保育者として求められるコミュニケーション能力と人間関係を調整する能力を身に付けている人。の3点を卒業時に求められる能力として設定している。

これらのディプロマ・ポリシーの内容が卒業時に満足できているかについては、各学期終了後、学修成果の評価項目に対して個別の学生ごとに達成度のチェックを実施しており、評価項目の達成度をもとにポリシーに到達できているのかの評価を行っている。

卒業の判定に関しては、通常の教授会とは別に例年2月に卒業判定教授会を実施し、全てのコースの卒業予定者を対象に卒業要件をもとに判定をおこなっている。本学では卒業認定の方針（ディプロマポリシー）をもとに学修成果とその評価項目が作られており、学修成果の評価に関しては、学期ごとに評価項目をもとに学生の自己評価と指導教員との面談評価の結果を用いて実施している。

これらのことから、本学では卒業認定に関する方針を定め、広報するとともに適切に認定しているものと認識している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	卒業の認定方針（ディプロマ・ポリシー）と卒業要件に関しては、「学生便覧 Campus Life」（冊子）に掲載し、入学時に各学生に配布している。また、本学ホームページにおいても、同様の内容を、情報の公表で広く公表している。 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等→4. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準（必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位）及び9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
収支計算書又は 損益計算書	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
財産目録	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
事業報告書	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 2. 事業報告書(役員名簿含む)、監事の監査報告書、その他の財務情報
監事による監査 報告(書)	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 2. 事業報告書(役員名簿含む)、監事の監査報告書、その他の財務情報

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: _____)	対象年度: _____)
公表方法:	
中長期計画(名称: _____)	対象年度: _____)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 情報の公表(http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 4. 上記以外の情報 → 9. 令和2年度佐賀女子短期大学自己点検・評価報告書

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 : <http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/>
バナー「令和2年度短期大学認証評価結果 適格認定」

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域みらい学科
教育研究上の目的 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 1. 教育研究上の基礎的な情報 → 1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的
(概要) 建学の精神に基づき、①女性の社会突破力②子どもの未来想像力③地域で育む実践力④多文化共生力の 4 つの力を身につけ、食とヘルスマネジメント、福祉とソーシャルケア、韓国語文化、グローバル共生 IT で展開される専門的な知識の修得を通じ地域社会にとって役に立つ人材を養成することを目標とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と 3 つのポリシー
(概要) 本学科は、本学科の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人 2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人 5. コースが求める専門性の基盤を構築できる人
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と 3 つのポリシー

<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることとを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育 2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等 3. コースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成 <p>(学科共通のキャリア教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学科共通科目「地域みらい学」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の抱える課題の発見とその解決方法、および多職種協働のあり方を実践的に学ぶ。 ○今日的課題の理解に対応したカリキュラムの展開 ・国内外のインターンシップや海外研修を通し、地域や職業ごとの課題を意識した職業観を身に付ける。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 修学上の情報等 <p>→ 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人 2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人 5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人
<p>学部等名 こども未来学科</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育研究上の基礎的な情報 <p>→ 1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的</p>
<p>(概要)</p> <p>建学の精神を基盤として、豊かな人間性と教養をそなえ、広い視野と確かなこども観を持ち、新しい時代の要請に応じて教育・保育・福祉の世界で活躍できる人材を育成する。</p>

<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、別に定める学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人 2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人 5. それぞれのコースが求める専門性の基盤を構築できる人
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育 2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等 3. それぞれのコースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成 (学科共通のキャリア教育) <p>○学科共通科目「こども未来学」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の抱える課題の発見とその解決方法、および多職種協働のあり方を実践的に学ぶ。 <p>○今日的課題に対応したカリキュラムの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援」や「接続期への対応」など就職後を意識したスキルを身に付ける。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等 → 9. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人 2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人

3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
こども未来	－	3人	8人	0人	0人	0人	11人
地域みらい	－	5人	6人	5人	0人	3人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		64人					64人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、各学科から2名と事務部門から2名でFD委員会を組織し、その部署が中心となってFD活動を展開している。本学のFD活動の現状はFDを授業改善を中心とした教育活動全般にわたる改善の取り組みと定義して、教職員への研修と、優秀授業の選定と表彰を通して啓発活動を行っている。</p> <p>昨年度は全学規模で6回の研修を実施した。内容はコロナ禍によって緊急に取り組む必要に迫られた遠隔授業に関するものが3回と、本学が当該年度に受ける予定の認証評価についての研修が1回。そして、新たな取り組みとしてティーチングポートフォリオ作成に関する研修を実施した。昨年度の反省点としては遠隔授業への対応が急務であったこともあって、例年より内容的にやや偏りがみられたことや、従来広い意味でFD・SD活動に含めていた募集に係る学内の勉強会を算入していないことが回数少なさにも影響している。この他、学科単位でのFD研修も実施されている。優秀授業の周知と表彰については、学生の授業アンケートの結果を基に、そこから各年度の優秀授業者を選出している。教授会で表彰が行われ、その際に受賞者から授業の方法や工夫に関して簡単な説明がなされている。また、常勤教員同</p>							

士で3人程度のグループを作り、授業を相互に参観し、ピアレビューを行う授業相互参観制度も導入しており、毎年報告書を作成している。

今年度については現時点で6回のFD研修会が予定されている。初めての試みとなる他短大と共催予定のデータサイエンス関連の研修会は、学外から講師を招聘して実施する予定である。研修分野としては、授業に関連した内容の他に、防災教育、カリキュラムマネジメント等の分野にて実施する。また、ハラスメントや合理的配慮に関連したテーマは、およそ毎年交互に取り上げて研修をおこなっている。遠隔授業に関しての研修は、現今の情勢を受けて今年度も実施する予定である。本学の中期計画において、FD活動への参加率を全教職員の80%と超と目標を定めているが、昨年度は年間換算で目標値を達成している。参加率の向上のため、例年同様早めに日程を決定し、周知すると同時に、教職員にとって必要性が高くより関心の深いテーマを選び研修を計画していく。授業アンケートとそれに基づく優秀授業者の表彰、授業相互参観制度は、今年度も実施するが、相互参観の報告書はティーチングポートフォリオで代替する予定である。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域みらい	130人	116人	89.2%	260人	246人	94.6%	人	人
こども未来	80人	57人	71.3%	160人	100人	62.5%	人	人
合計	210人	173人	82.4%	420人	346人	82.4%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域みらい学科	85人 (100%)	3人 (3.5%)	72人 (84.7%)	10人 (11.8%)
こども未来学科	72人 (100%)	1人 (1.4%)	69人 (95.8%)	2人 (2.8%)
合計	157人 (100%)	4人 (2.6%)	141人 (89.8%)	12人 (7.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
株式会社LEOC、社会福祉法人慈恵会 鳳寿園、社会福祉法人佐賀整肢学園・オークス、社会福祉法人天寿会 天寿荘、社会福祉法人めぐみ厚生センター、株式会社シダックス、株式会社 花古賀、佐賀市役所、小城市役所、伊万里市役所、伊万里市立立花小学校、島原市立三会小学校、佐賀女子短期大学付属ふたばこども園、医療法人 ひらまつ病院、社会福祉法人 久保田保育園、社会福祉法人 城北福祉会				
(備考) なし				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
地域みらい	125人 (100%)	85人 (68%)	6人 (4.8%)	17人 (13.6%)	17人 (13.6%)
こども未来	71人 (100%)	71人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	196人 (100%)	156人 (79.6%)	6人 (3%)	17人 (8.7%)	17人 (8.7%)
(備考) 留年者は、休学による在籍年数不足。(コロナのため留学延期、体調不良等) 中途退学者は、7割程度がコロナによる海外からの留学取り止め及び進路変更(就職、進学)であり、その他、就学意欲喪失や体調不良などがある。その他は長期履修生。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業計画の作成・公表に関しては、本学ポータルサイトの登録・閲覧システムを利用しており、以下の内容について記載している。</p> <p>授業の概要、授業の到達目標、該当ディプロマ・ポリシー項目番号、授業形態、授業計画（事前事後学習含む）</p> <p>アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)、</p> <p>評価方法(基準)、課題等のフィードバック、教科書・参考書、</p> <p>科目に関する実務経験を活かした教育内容、オフィスアワー</p> <p>作成にあたっては、次年度のカリキュラム及び授業担当者決定後、12月初旬ごろにシラバス作成の依頼をし、2月中旬に提出となる。その後、教務委員により内容等のチェックが行われ、それを経て年度初日に公開となる。また、学内のポータルサイトへの公開と同時に、本学ホームページのトップページ下部に「Webシラバス」としてリンクを置き、広く一般にも公表を行っている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)										
<p>学修成果に係る評価(単位の付与、及び履修の認定)に関しては本学では基本的に授業科目担当者の責任において行われている。それぞれの授業科目ではシラバス(授業計画)の到達目標と該当ディプロマ・ポリシーの項目を通じて、履修者に求められる学修成果とコースのディプロマ・ポリシーを明示している。また、シラバスには評価の方法、基準も記載しており、担当教員はそこに示した方法と基準に従って受講者の学修成果を評価し、履修を認定し単位を付与している。</p> <p>卒業認定に関しては、学校、学科、コースのレベルでその方針(ディプロマ・ポリシー)が予め定められおり、学生に入学時に配付される「学生便覧 Campus Life」やホームページにおいて学生やその他の関係者に対して内容を公表している。同時に、各コースの卒業要件も同様の方法にて公表し、この方針は入学後のオリエンテーション等で学生と保護者に周知を図っている。これらのディプロマ・ポリシーの内容が卒業時に満足できているかについては、各学期終了後、学修成果の評価項目に対して個別の学生ごとに達成度のチェックを実施しており、評価項目の達成度をもとにポリシーに到達できているのかの評価を行っている。</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要な 単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)					
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)						

	地域みらい	62 単位	有・無	25 単位
	こども未来	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：公表していない		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：公表していない		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>①情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>1. 教育研究上の基礎的な情報</p> <p>→ 3. 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境、校舎等の耐震化率</p> <p>②施設設備</p> <p>(http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/campus_life/facilities)</p> <p>※ホームページ → キャンパスライフ → 施設設備</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
地域みらい	食とヘルスマネジメント	520,000 円	200,000 円	445,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 後援会費 15,000 円
	福祉とソーシャルケア	520,000 円	200,000 円	525,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 80,000 円 後援会費 15,000 円
	韓国語文化	520,000 円	200,000 円	475,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 後援会費 15,000 円 国際活動費 30,000 円
	グローバル共生 I T	520,000 円	200,000 円	445,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 後援会費 15,000 円
こども未来	こども保育	520,000 円	200,000 円	461,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 16,000 円 後援会費 15,000 円

	こども教育	520,000 円	200,000 円	471,000 円	その他 内訳 教育充実費 380,000 円 委託徴収費 50,000 円 実習費 26,000 円 後援会費 15,000 円
--	-------	-----------	-----------	-----------	--

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生への修学支援は指導教員及び各担当部署が相互に連携しながら、以下の修学支援を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導教員制・・・入学後、指導教員を決定し、修学上の問題はもとより、個々の学生生活の諸問題について、指導および助言を行う。 2. 履修登録・・・年度当初に教務オリエンテーションにて全体に説明後、各学科コースの教務委員を中心に、コース別の履修指導を行う。 3. 初期面談・・・ミスマッチ等による退学者予防の為、入学後早い時期に、指導教員による面談を行い、学習面、生活面、対人面、進路面、経済面について状況を把握し、必要に応じて経過観察または指導を行う。 4. 成績不振学生対応・・・各学期終了後、基準以下の学生については指導教員による面談を行う。また、学生相談室とも情報を共有し、必要に応じて追加の面談を行う。 5. 保護者会・・・保護者会を年1回行っている。1年生は学生生活を中心に、2年生は進路関係を中心に全体会を行い、その前後で指導教員との個別面談を実施する。 6. 図書館オリエンテーション・・・1年生の授業開始前に、図書館の使用方法（情報検索、資料請求、図書貸出等）について全体オリエンテーションを行う。 7. 入学前教育・・・コースによって、課題提示またはスクーリングにより、入学前教育を行っている。また、付属高校に関しては、短大教育へのスムーズな移行を図るため、レポートの書き方等のスクーリングを実施する。 <p>その他、学生生活に係る諸手続きに関しては、「学生便覧 Campus Life」に掲載し、関係窓口にて対応している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では全コースの教員、事務職員が構成員となっているキャリア支援センターを設置しており、月に1回支援に関する会議を実施し、全学体制で支援を行っている。1年次より進路ガイダンスを実施し、学外からはヤングハローワークの受け入れを行うことで、学生の進路意識の向上に努めている。その他にも就職先訪問及びアンケート調査、インターンシップ支援、公務員及び教員採用試験対策講座、MOS資格取得への支援を実施している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

各コースの代表の教員と養護教諭で構成した「健康管理センター」を設置している。毎月1回会議を開催して、学生全体の心身の健康状態や健康課題について協議し、学園全体の情報の共有や共通理解を図り、学生相談室と連携して心身両面から学生支援へ繋いでいる。感染症対応については「フローチャート」を作成し全教職員が危機管理の意識を持ち、適切な対応ができるようにしている。また、1年生全員を対象にした性に関する講話やAEDの講義・実技の研修を毎年度計画的に実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

情報の公表 (<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>)

2. 修学上の情報等

→ 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績

・『研究紀要』第54集（電子ブック）

・『研究紀要』第55集（電子ブック）

4. 上記以外の情報

→ 1～9

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F241310111158
学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		46人	44人	46人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	26人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	11人	—	
家計急変による支援対象者（年間）				
合計（年間）				46人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間		前半期	0人 後半期 0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		—	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		—	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

令和2年度高等教育の修学支援新制度（更新確認申請書：様式第2号の1～4）

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域みらい学科	食とヘルスマネジメントコース	夜・通信		4	15	19	7	
	福祉とソーシャルケアコース	夜・通信			68	72	7	
	健康とホスピタリティコース	夜・通信			10	14	7	
	韓国語文化コース	夜・通信			7	11	7	
	グローバル共生ITコース	夜・通信			25	29	7	
こども未来学科	こども教育コース	夜・通信	17		15	32	7	
	こども保育コース	夜・通信			9	26	7	
(備考) 健康とホスピタリティコースは、コース廃止（2年生のみ在籍中） 韓国語文化コースは、コース新設（1年生のみ在籍中） グローバル共生ITコースは、グローバル共生コースから名称変更								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生に対しては「学内ポータルサイト」にて公開している。 また、ホームページ (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 下部に「Web シラバス」を公開しており、その下に「実務経験のある教員等による授業」として一覧表をアップし、広く一般に公開している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	該当なし
(困難である理由)	
該当なし	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)
3. 財務情報 → 2. 事業報告書（役員名簿含む）、監事の監査報告書、その他の財務情報

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 弁護士	4年 (2020.4.1 ~2024.3.31)	労務、法務
非常勤	(現職) 佐賀みずものがたり館 館長	4年 (2018.4.1 ~2022.3.31)	教学・研究分野に関する チェック
非常勤	(現職) ミズホールディングス 代表取締役会長	4年 (2020.6.1 ~2024.5.31)	経営強化に関する 企画運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成・公表に関しては、本学ポータルサイトの登録・閲覧システムを利用しており、以下の内容について記載している。</p> <p>授業の概要、授業の到達目標、該当ディプロマ・ポリシー項目番号、授業形態、授業計画(事前事後学習含む)</p> <p>アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)、</p> <p>評価方法(基準)、課題等のフィードバック、教科書・参考書、</p> <p>科目に関する実務経験を活かした教育内容、オフィスアワー</p> <p>作成にあたっては、次年度のカリキュラム及び授業担当者決定後、12月初旬ごろにシラバス作成の依頼をし、2月中旬に提出となる。その後、教務委員により内容等のチェックが行われ、それを経て年度初日に公開となる。また、学内のポータルサイトへの公開と同時に、本学ホームページのトップページ下部に「Web シラバス」としてリンクを置き、広く一般にも公表を行っている。</p> <p>上記取組みについては、地域みらい及び子ども未来の両学科について、同様の取扱いをしている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/</p> <p>学内では、ポータルサイトにて授業計画を公開しているが、広く一般に対しては、上記本学ホームページのトップページ下部に「Web シラバス」としてリンクを置き公表している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位の付与、及び履修の認定に関しては本学では基本的に授業科目担当者の責任において行われている。それぞれの授業科目ではシラバス(授業計画)の到達目標と該当ディプロマ・ポリシーの項目を通じて、履修者に求められる学修成果とコースのディプロマ・ポリシーを明示している。また、シラバスには評価の方法、基準も記載しており、担当教員はそこに示した方法と基準に従って受講者の学修成果を評価し、履修を認定し単位を付与している。シラバスに示されたそれらの内容の妥当性に関しては、コース内の複数の教員が、事前にチェックするシステムをとっている。また、学年の終わりには授業科目の成績分布傾向を公表しており、同じく公開される各授業への学生アンケートの自由記述項目等をもとに、各教員にそれらに基づいた自己評価を義務づけている。このような取り組みから、本学では適正で厳格な履修認定と単位付与を行っているものと認識している。</p> <p>授業への出席状況は、ポータルサイトにて教員と学生個人との間で共有しており、</p>	

同時に事務サイドの協力も得て学生からの欠席連絡を受付、コース内で共有する体制を整備することで、単位取得条件のひとつである授業への出席状況については公明、厳正に認定をしている。加えて、学修意欲の把握に関しては、本学ではシラバスに示されているように全ての授業でアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、その際の受講者との対話を通して把握に務めている。また、IR室によって学年末に行われる学習時間等の調査のデータも、学修意欲の把握の一助としている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において、本学はGPA制度を下記のとおり導入・運用している。

GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度に基づく成績評価の判定基準は次の通りとする。

①	判定	評価	評点	GP	内容
	合格	秀 (S)	100~90	4	特に優秀な成績
		優 (A)	89~80	3	優れた成績
		良 (B)	79~70	2	良好な成績
		可 (C)	69~60	1	合格と認められる成績
	不合格	不可 (D)	59点以下	0	※1
	認定	認定 (N)	—	—	※2
	合格	合格 (P)	—	—	※3

※1 全授業数の3分の1を超える欠席の場合、試験を放棄した場合を含む。

※2 他大学等 (留学を含む) で修得した科目を本学の単位として認定したことを表す (検定試験等に合格し、本学の単位として認定した場合を含む)。

※3 他大学等 (留学を含む) で合格の認定を受けた単位を本学の単位として認定したことを表す。

② GPA (GPの平均値: 1単位あたりのGP) の算出方法は次の通りとする。
履修登録した科目毎に、GPと単位数を乗じ、その合計数を履修登録科目の総単位数で除して算出する。

$$GPA = \frac{(GP \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の総単位数}}$$

上記の方法により算出しており、学生及び教職員は「ポータルサイト」にて、常に状況を確認することができる。

上記取組については、地域みらい及びこども未来の両学科について、同様の取扱いをしている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学内については、入学当初全学生及び教職員に配布される「学生便覧 Campus Life」(冊子)に掲載すると共に、4月のオリエンテーションにて、説明を行っている。
また同冊子は、本学ホームページ (<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>) においても閲覧可能であり、広く一般に公表している。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定に関しては、学校、学科、コースのレベルでその方針（ディプロマ・ポリシー）が予め定められおり、学生に入学時に配付される「学生便覧 Campus Life」やホームページにおいて学生やその他の関係者に対して以下に示す内容を公表している。同時に、各コースの卒業要件も同様の方法にて公表している。また、この方針は入学後のオリエンテーション等で学生と保護者にも周知を図っている。そして、この方針は年度末に開催される教育カンファレンスにおいて、その年度の教育活動を総括したデータを基に、毎年内容の検討がなされている。

ディプロマ・ポリシーは、先述したように短大、学科、コースの3つのレベルにおいてそれぞれ設定されているが、ここでは、卒業の認定の際に直接関わる各コースのポリシーについて説明する。ポリシーにはそれぞれのコースの学修成果をベースに、コース独自の卒業時に求められる能力を記述している。この求められる能力を定める際に、「順和、礼讓、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人を全コースに共通して求められる能力としている。

その他、コース独自の求められる能力としては、地域みらい学科の食とヘルスマネジメントコースで・コミュニケーションを円滑にし、積極的に協働できる人。・食に関する専門的知識や実践的スキルを修得し、国際・地域社会における食の世界の今日的なニーズに対応できる人と定めている。また、福祉とソーシャルケアコースでは、・介護を必要とする人の心に寄り添い、その立場に立って考えることができ、適切に行動することができる人。・介護福祉士に必要な幅広い専門知識と、個別性を理解した根拠のある生活支援技術を身に付けている人。・生活支援技術の理論と実践を統合し、個別介護計画の立案・実施・評価ができる人。・福祉の現状に関心を持ち、予想される未来について推察する力を身に付けている人と定めている。健康とホスピタリーコースでは、・コミュニケーションを円滑にし、積極的に協働できる人。・健康に関する専門的知識や実践的スキルを修得し、ヘルスプロモーションを基本理念とした地域社会の健康づくり活動に主体的に取り組める人と設定している。韓国語文化コースでは、・言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人。・多文化共生力、専門的知識・技能（外国語力、特に韓国語能力さらに韓国文化への深い理解）を国際・地域社会で主体的に活用できる人と設定している。グローバル共生 IT コースでは、・言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人。・多文化共生力、専門的知識・技能（外国語力、ビジネス能力、司書としての技能、IT とデザインに関わる専門的知識・技能）を国際・地域社会で主体的に活用できる人と設定している。

これに対して、こども未来学科ではこども教育コースで、・豊富な社会体験を通して、自ら考える力や幅広い教養とコミュニケーション能力を身に付けることができる人。・将来の小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等としての目的意識を持ち、使命感と豊かな人間性を備えた人。・基礎・基本の学力とともに、専門的知識や実践的スキルを身に付けようと努力する人の3点を、こども保育コースでは・保育者としての使命感と豊かな人間性を持ち、常に子どもに寄り添い、子どもを尊重することができる人。・保育者としての専門的知識や実践的スキルを修得し、様々な側面から子どもを理解し、国際・地域社会における今日的なニーズに対応できる人。・保育者として求められるコミュニケーション能力と人間関係を調整する能力を身に付けている人。の3点を卒業時に求められる能力として設定している。

これらのディプロマ・ポリシーの内容が卒業時に満足できているかについては、各学期終了後、学修成果の評価項目に対して個別の学生ごとに達成度のチェックを実施しており、評価項目の達成度をもとにポリシーに到達できているのかの評価を行っている。

卒業の判定に関しては、通常の教授会とは別に例年2月に卒業判定教授会を実施し、全てのコースの卒業予定者を対象に卒業要件をもとに判定をおこなっている。本学では卒業認定の方針（ディプロマポリシー）をもとに学修成果とその評価項目が作られており、学修成果の評価に関しては、学期ごとに評価項目をもとに学生の自己評価と指導教員との面談評価の結果を用いて実施している。

これらのことから、本学では卒業認定に関する方針を定め、広報するとともに適切に認定しているものと認識している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

卒業の認定方針（ディプロマ・ポリシー）と卒業要件に関しては、「学生便覧 Campus Life」（冊子）に掲載し、入学時に各学生に配布している。また、本学ホームページにおいても、同様の内容を、情報の公表（<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo>）の(4)学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準（必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位）と(8)各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシーの部分で広く公表している。

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	佐賀女子短期大学
設置者名	学校法人 旭学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
収支計算書又は 損益計算書	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
財産目録	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 1. 財産目録、貸借対照表、収支計算書
事業報告書	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 2. 事業報告書(役員名簿含む)、監事の監査報告書、その他の財務情報
監事による監査 報告(書)	情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 3. 財務情報 → 2. 事業報告書(役員名簿含む)、監事の監査報告書、その他の財務情報

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法:
中長期計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 4. 上記以外の情報 → 令和元年度佐賀女子短期大学自己点検・評価報告書

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法：<http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/>
バナー「認証評価 (第三者評価適格認定について)」

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	こども未来学科
教育研究上の目的 (公表方法: 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo))	1. 教育研究上の基礎的な情報 → 1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的
(概要)	建学の精神を基盤として、豊かな人間性と教養をそなえ、広い視野と確かなこども観を持ち、新しい時代の要請に応じて教育・保育・福祉の世界で活躍できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo))	2. 修学上の情報等 → 各学科・コースの教育目標、学習成果と 3 つのポリシー
(概要)	本学科は、別に定める学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人 2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人 5. それぞれのコースが求める専門性の基盤を構築できる人
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo))	2. 修学上の情報等 → 各学科・コースの教育目標、学習成果と 3 つのポリシー
(概要)	本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育 2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等 3. それぞれのコースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成 (学科共通のキャリア教育) ○ 学科共通科目「こども未来学」の展開

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の抱える課題の発見とその解決方法、および多職種協働のあり方を実践的に学ぶ。 <p>○今日的課題に対応したカリキュラムの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援」や「接続期への対応」など就職後を意識したスキルを身に付ける。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等</p> <p>→ 8. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人 2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人 5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人
<p>学部等名 地域みらい学科</p> <p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>1. 教育研究上の基礎的な情報</p> <p>→ 1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的</p>
<p>(概要)</p> <p>建学の精神に基づき、①女性の社会突破力②子どもの未来想像力③地域で育む実践力④多文化共生力の4つの力を身につけ、食とヘルスマネジメント、福祉とソーシャルケア、韓国語文化、グローバル共生 IT で展開される専門的な知識の修得を通じ地域社会にとって役に立つ人材を養成することを目標とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：</p> <p>情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 修学上の情報等</p> <p>→ 8. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要)</p> <p>本学科は、本学科の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人 2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人

<p>4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人 5. コースが求める専門性の基盤を構築できる人</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 8. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要) 本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育 2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等 3. コースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成 <p>(学科共通のキャリア教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学科共通科目「地域みらい学」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の抱える課題の発見とその解決方法、および多職種協働のあり方を実践的に学ぶ。 ○今日的課題の理解に対応したカリキュラムの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のインターンシップや海外研修を通し、地域や職業ごとの課題を意識した職業観を身に付ける。
<p>入学者の受入れに関する方針 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 8. 各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー</p>
<p>(概要) 本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人 2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人 3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人 4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人 5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織 の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
こども未来	－	3人	7人	0人	0人	0人	10人
地域みらい	－	5人	8人	5人	0人	3人	21人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		67人					67人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo) 2. 修学上の情報等 → 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、各学科から2名と事務部門から2名でFD委員会を組織し、その部署が中心となってFD活動を展開している。本学の現状はFDを授業改善を中心とした教育活動全般にわたる改善の取り組みと定義して、教職員への研修と、優秀授業の周知と表彰を中心とした啓発活動を中心に行っている。</p> <p>昨年度は全学規模で8回の研修を実施した。内容は「それぞれのコース・学科の教育内容の共有に関するテーマ」についての研修、「教育の質保証のための教学マネジメント」についての研修、「それぞれのコースにおける学習成果の可視化」のための研修、「学校安全と防災」に関する研修、「気になる学生の理解と対応」に関する研修、そして「ICT導入と遠隔授業」についての技術的な研修等と多岐にわたるものであった。これらは、現時点で本学の抱える教育上の課題と重点目標とに対応して設定されている。この他、学科単位でのFD研修も実施されている。優秀授業の周知と表彰については、学生の授業アンケートの結果を基に、そこから各年度の優秀授業者を選出している。教授会で表彰が行われ、その際に受賞者から授業の方法や工夫に関して簡単な説明がなされている。また、常勤教員同士で3人程度のグループを作り、授業を相互に参観し、ピアレビューを行う授業相互参観制度も導入しており、毎年報告書を作成している。</p> <p>今年度は8回のFD研修会が予定されており、うち2回程度は学外から講師を招聘して実施する予定である。研修分野としては、授業力、学生理解・対応力の向上を目指すものと、今年度前半に直面した遠隔授業に関連する研修を中心に計画している。また、この他に近年多くの職場で課題となっている働き方改革についても研修を行う予定である。当面の参加率の目標値は80%であるが、昨年度は一部の研修でそれに達していなかったため、今年度は全教職員に早めに周知すると同時に、教職員にとって必要性が高くより関心の深いテーマで実施するように計画している。また、FD研修の終了時に毎回、今後受けた研修のアンケートを実施しているが、その結果も研修の計画に役立っている。優秀授業者の表彰と授業相互参観制度は、今年度も実施する予定である。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
こども未来	80人	44人	55.0%	160人	116人	72.5%	人	人
地域みらい	130人	108人	83.1%	260人	222人	85.4%	人	人
合計	210人	150人	71.4%	420人	338人	80.5%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域みらい学科	70人 (100%)	3人 (4.3%)	60人 (85.7%)	7人 (10%)
こども未来学科	45人 (100%)	0人 (0%)	40人 (88.9%)	5人 (11.1%)
合計	115人 (100%)	3人 (2.6%)	100人 (87%)	12人 (10.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 日清医療食品株式会社、社会福祉法人天寿会 天寿荘、医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院、木村情報技術株式会社、株式会社 SUMCO、五島市役所、江北町立江北小学校、社会福祉法人慈照福祉会 もりやまこども園、学校法人鳥栖学園 布津原幼稚園、社会福祉法人 堀江保育園				
(備考) なし				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
こども未来	54人 (100%)	44人 (81.5%)	1人 (1.9%)	9人 (16.7%)	0人 (0%)
地域みらい	75人 (100%)	69人 (92%)	0人 (0%)	6人 (8%)	0人 (0%)
合計	129人 (100%)	113人 (87.6%)	1人 (0.8%)	15人 (11.6%)	0人 (0%)
(備考) 留年者は、欠席過多による卒業単位不足のため。 中途退学者は、3分の2が進路変更(就職、進学)であり、その他、就学意欲喪失や体調不良、家庭の事情などがある。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画の作成・公表に関しては、本学ポータルサイトの登録・閲覧システムを利用しており、以下の内容について記載している。</p> <p>授業の概要、授業の到達目標、該当ディプロマ・ポリシー項目番号、授業形態、授業計画（事前事後学習含む）</p> <p>アクティブ・ラーニングを促す手法(主要なもの)、</p> <p>評価方法(基準)、課題等のフィードバック、教科書・参考書、</p> <p>科目に関する実務経験を活かした教育内容、オフィスアワー</p> <p>作成にあたっては、次年度のカリキュラム及び授業担当者決定後、12月初旬ごろにシラバス作成の依頼をし、2月中旬に提出となる。その後、教務委員により内容等のチェックが行われ、それを経て年度初日に公開となる。また、学内のポータルサイトへの公開と同時に、本学ホームページのトップページ下部に「Web シラバス」としてリンクを置き、広く一般にも公表を行っている。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学修成果に係る評価（単位の付与、及び履修の認定）に関しては本学では基本的に授業科目担当者の責任において行われている。それぞれの授業科目ではシラバス（授業計画）の到達目標と該当ディプロマ・ポリシーの項目を通じて、履修者に求められる学修成果とコースのディプロマ・ポリシーを明示している。また、シラバスには評価の方法、基準も記載しており、担当教員はそこに示した方法と基準に従って受講者の学修成果を評価し、履修を認定し単位を付与している。</p> <p>卒業認定に関しては、学校、学科、コースのレベルでその方針（ディプロマ・ポリシー）が予め定められおり、学生に入学時に配付される「学生便覧 Campus Life」やホームページにおいて学生やその他の関係者に対して内容を公表している。同時に、各コースの卒業要件も同様の方法にて公表し、この方針は入学後のオリエンテーション等で学生と保護者に周知を図っている。これらのディプロマ・ポリシーの内容が卒業時に満足できているかについては、各学期終了後、学修成果の評価項目に対して個別の学生ごとに達成度のチェックを実施しており、評価項目の達成度をもとにポリシーに到達できているのかの評価を行っている。</p>
--

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	こども未来	62 単位	有・無	単位
	地域みらい	62 単位	有・無	25 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：公表していない		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：公表していない		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>①情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>1. 教育研究上の基礎的な情報</p> <p>→ 3. 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境、校舎等の耐震化率</p>

②施設設備 キャンパスライフ (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/campus_life/facilities) →施設設備

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
こども未来	こども保育	520,000円	200,000円	461,000円	その他 内訳 教育充実費 380,000円 委託徴収費 50,000円 実習費 16,000円 後援会費 15,000円
	こども教育	520,000円	200,000円	471,000円	その他 内訳 教育充実費 380,000円 委託徴収費 50,000円 実習費 26,000円 後援会費 15,000円
地域みらい	食とヘルスマネジメント	520,000円	200,000円	445,000円	その他 内訳 教育充実費 380,000円 委託徴収費 50,000円 後援会費 15,000円
	福祉とソーシャルケア	520,000円	200,000円	525,000円	その他 内訳 教育充実費 380,000円 委託徴収費 50,000円 実習費 80,000円 後援会費 15,000円
	韓国語文化	520,000円	200,000円	475,000円	その他 内訳 教育充実費 380,000円 委託徴収費 50,000円 後援会費 15,000円 国際活動費 30,000円
	グローバル共生IT	520,000円	200,000円	445,000円	その他 内訳 教育充実費 380,000円 委託徴収費 50,000円 後援会費 15,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 学生への修学支援は指導教員及び各担当部署が相互に連携しながら、以下の修学支援を行っている。 1. 指導教員制・・・入学後、指導教員を決定し、修学上の問題はもとより、個々の学生生活の諸問題について、指導および助言を行う。 2. 履修登録・・・年度当初に教務オリエンテーションにて全体に説明後、各学科

<p>コースの教務委員を中心に、コース別の履修指導を行う。</p> <p>3. 初期面談・・・ミスマッチ等による退学者予防の為、入学後早い時期に、指導教員による面談を行い、学習面、生活面、対人面、進路面、経済面について状況を把握し、必要に応じて経過観察または指導を行う。</p> <p>4. 成績不振学生対応・・・各学期終了後、基準以下の学生については指導教員による面談を行う。また、学生相談室とも情報を共有し、必要に応じて追加の面談を行う。</p> <p>5. 保護者会・・・保護者会を年1回行っている。1年生は学生生活を中心に、2年生は進路関係を中心に全体会を行い、その前後で指導教員との個別面談を実施する。</p> <p>6. 図書館オリエンテーション・・・1年生の授業開始前に、図書館の使用方法（情報検索、資料請求、図書貸出等）について全体オリエンテーションを行う。</p> <p>7. 入学前教育・・・コースによって、課題提示またはスクーリングにより、入学前教育を行っている。また、付属高校に関しては、短大教育へのスムーズな移行を図るため、レポートの書き方等のスクーリングを実施する。</p> <p>その他、学生生活に係る諸手続きに関しては、「学生便覧 Campus Life」に掲載し、関係窓口にて対応している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では全コースの教員、事務職員が構成員となっているキャリア支援センターを設置しており、月に1回支援に関する会議を実施し、全学体制で支援を行っている。1年次より進路ガイダンスを実施し、学外からはヤングハローワークの受け入れを行うことで、学生の進路意識の向上に努めている。その他にも就職先訪問及びアンケート調査、インターンシップ支援、公務員及び教員採用試験対策講座、MO S資格取得への支援を実施している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>各コースの代表の教員と養護教諭で構成した「健康管理センター」を設置している。毎月1回会議を開催して、学生全体の心身の健康状態や健康課題について協議し、学園全体の情報の共有や共通理解を図り、学生相談室と連携して心身両面から学生支援へ繋いでいる。感染症対応については「フローチャート」を作成し全教職員が危機管理の意識を持ち、適切な対応ができるようにしている。また、1年生全員を対象にした性に関する講話やAEDの講義・実技の研修を毎年度計画的に実施している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法： 情報の公表 (http://www.asahigakuen.ac.jp/sajotan/information/kouhyo)</p> <p>2. 教育研究上の基礎的な情報</p> <p>→ 1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『研究紀要』第52集第2号（電子ブック） ・『研究紀要』第53集（電子ブック） <p>→ 4. 上記以外の情報</p>
